

科目名 (科目番号)		血液検査学Ⅰ (時間割参照)	教員名 山口孝一	学科等	臨床検査	必修	履修年次	2
				曜日・時限等	時間割表参照	単位数	2	
				授業形態	講義	オフィスアワー	月曜日5限	
授業概要		血液・造血器疾患の診断に必要な血液検査学について学び、血液の量的、質的異常と疾患との関連を理解する。また、止血機構に関与する凝固・線溶系の検査法を学び、血栓形成や出血傾向の診断に必要な知識を習得する。						
目的・目標		目的:血液検査学の基礎を学び、血液検査データの臨床における役割や課題について理解 目標:①血液・造血器疾患の診断に必要な血液検査学方法を学び、疾患との関連を理解する ②止血機構に関与する凝固・線溶系の検査法を学び、疾患との関連を理解する						
準備学習		毎回の授業について少なくとも1時間程度の予習・復習をすること。						
授業計画	回	授業項目		到達目標・学習内容				
	1	検体の採取と保存、血球に関する検査 - 1		到達目標:検体採取と保存、血球に関する検査を理解する。 学習内容:採血、抗凝固剤、検体管理、保存法、赤血球数算定、白血球数算定。				
	2	血球に関する検査 - 2		到達目標:血球に関する検査を理解する。 学習内容:好酸球数算定、血小板数算定、自動血球計数装置。				
	3	血球に関する検査 - 3		到達目標:血球に関する検査を理解する。 学習内容:網赤血球数、赤血球沈降速度、ヘモグロビン濃度、ヘマトクリット値。				
	4	血球に関する検査 - 4		到達目標:血球に関する検査を理解する。 学習内容:赤血球指数、赤血球の大きさ、溶血の検査。				
	5	血球に関する検査 - 5		到達目標:血球に関する検査結果と疾患との関連を理解する。 学習内容:赤血球系疾患。				
	6	形態に関する検査 - 1		到達目標:形態に関する検査を理解する。 学習内容:血液塗抹標本の作製法、骨髓標本の作製法。				
	7	形態に関する検査 - 2		到達目標:形態に関する検査を理解する。 学習内容:染色法(普通染色、ペルオキシダーゼ染色)。				
	8	形態に関する検査 - 3		到達目標:形態に関する検査を理解する。 学習内容:染色法(好中球アルカリフォスファターゼ染色、エステラーゼ染色、PAS染色、鉄染色)。				
	9	形態に関する検査 - 4		到達目標:形態に関する検査を理解する。 学習内容:末梢血液像の観察、骨髓像の観察、穿刺液の標本の観察、血液細胞抗原検査				
	10	形態に関する検査 - 5		到達目標:形態に関する検査結果と疾患との関連を理解する。 学習内容:白血球系疾患、造血器腫瘍				
	11	血小板、凝固・線溶検査 - 1		到達目標:血小板、凝固・線溶検査を理解する。 学習内容:血小板機能検査				
	12	血小板、凝固・線溶検査 - 2		到達目標:血小板、凝固・線溶検査を理解する。 学習内容:凝固検査				
	13	血小板、凝固・線溶検査 - 3		到達目標:血小板、凝固・線溶検査を理解する。 学習内容:線溶検査、凝固・線溶阻止因子の検査				
	14	血小板、凝固・線溶検査 - 4		到達目標:血小板、凝固・線溶検査を理解する。 学習内容:凝固・線溶阻止因子の検査、凝固・線溶系の分子マーカー				
	15	血小板、凝固・線溶検査 - 5		到達目標:血小板、凝固・線溶検査結果と疾患との関連を理解する。 学習内容:血小板異常による出血性素因、凝固・線溶因子の異常、血管の異常				
成績評価の方法・基準		期末試験(100%)(対面・オンライン共通)						
教科書		最新 臨床検査学講座「血液検査学」 /血液細胞症例集		奈良信雄、他 著 /監修:一般社団法人日本臨床衛生検査技師会		医歯薬出版/丸善出版		
参考図書		血液検査技術教本		監修:一般社団法人日本臨床衛生検査技師会		丸善出版		
教員からのメッセージ		昨年度の授業評価アンケート結果に基づく改善を施します。 医療提供施設で勤務した臨床検査技師がこの授業を担当します。 オンライン授業に伴い授業計画に変更がある場合は、オンラインクラスで変更のシラバスを周知いたします。						